

給排水衛生設備とは



給排水衛生設備は、建物を利用する人々に飲料水やお湯を供給し、小便・大弁などのトイレの汚染水や排水を他に影響を与えることなく排除し、保険衛生的環境の向上を実現する、生活活動をスムーズに行なうための基本的な設備です。

人間の身体にたとえると血管のようなものです。設備の多くは、ふだん目に触れないところでその役割を果たしています。これらが全体として機能するとき、衛生的で快適な環境が生まれるのです。

供給系の給水設備・給湯設備、排出系の排水通気設備・排水処理設備、その間に介在する衛生器具設備が主体です。

その他に、ガス設備・消火設備、さらには特殊設備と呼ばれる厨房設備・医療設備・浴場設備・プール設備・水景設備・ごみ処理設備などが含まれます。



給水
建物では、一般に半日分程度の水を受水槽に貯め、また、高い建物では屋上の高置水槽に揚水し、そこから重力による安定した給水を行う。



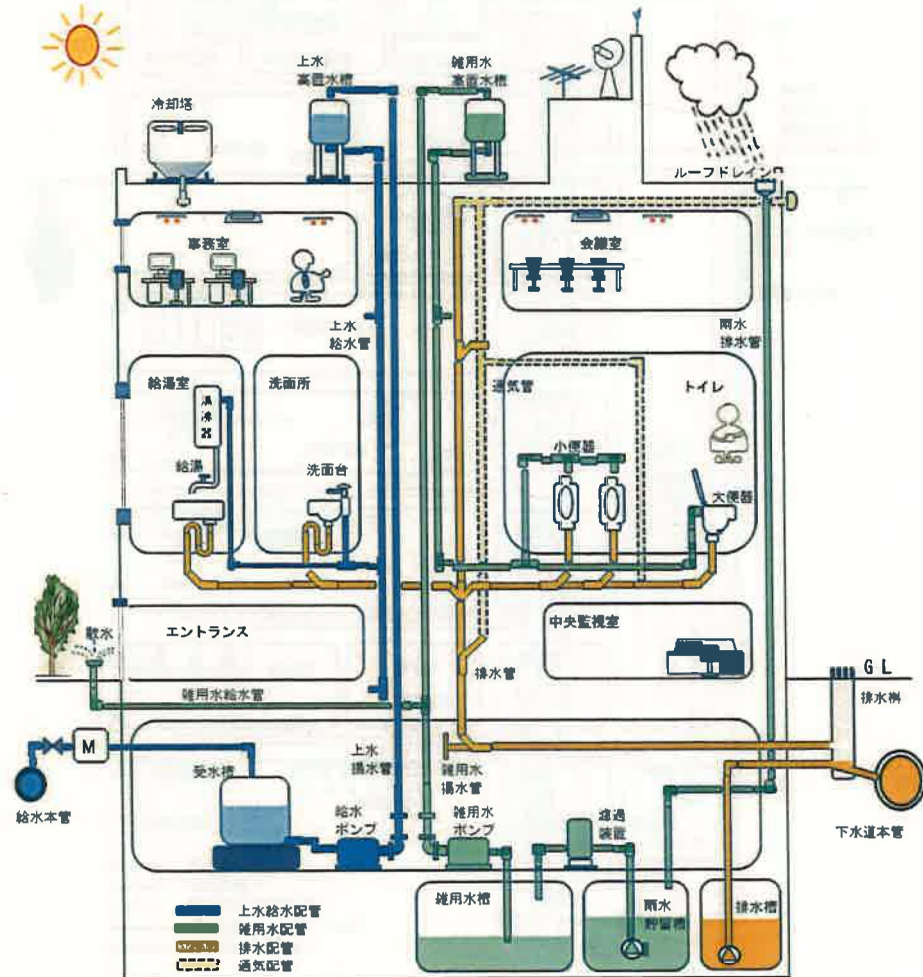
トイレ
人間生活に欠かせない設備。雑用水配管、排水管が集約。節水器具が普及。



雨水
雨は、一旦貯めてる過し、雑用水として利用。水資源の保護、都市型洪水の防止などに役立つ。また、震災時の非常用の雑用水として備蓄。



排水
地上階の汚水はそのまま排出、地下階の排水は排水槽に溜め、排水ポンプで排出。トラップの封水を守るために、通気管を必ず接地。



オフィスビルの給排水衛生設備